

所属・氏名（ 薬学部 薬学科 氏名：神垣 真由美 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) The Toll-like receptor 4-activated neuroprotective microglia subpopulation survives via granulocyte macrophage colony-stimulating factor and JAK2/STAT5 signaling 《筆頭著者》	共著	2016 年 1 月	Neurochemistry International	論文全体の概要:Toll 様受容体 4 活性化ミクログリアのサブポピュレーションは顆粒球マクロファージコロニー刺激因子、JAK2/STAT5 シグナル伝達を介して長期生存する。そのミクログリアは神経細胞保護的である可能性を示した。 (当該論文のページ数:82-94 頁) (当該論文の著者名:神垣真由美、秀和泉、柳瀬雄輝、白樺紘子、原田加奈、田中芳樹、関貴弘、白藤俊彦、田中茂、秀道広、酒井規雄) 担当部分の概要:全文を執筆したため抽出不可能
2	(発表・報告) Toll 様受容体 4 活性化ミクログリアのサブポピュレーションは GM-CSF 自己分泌を介して長期生存し神経保護効果を示す	共著	2016 年 6 月	第 129 回 日本薬理学会近畿部会	TLR4 活性化ミクログリアは GM-CSF、JAK2/STAT5 シグナル伝達を介して長期生存する。さらにそのミクログリアは液性因子を介して神経細胞保護的効果を示す可能性を示した。 神垣真由美、秀和泉、白樺紘子、柳瀬雄輝、田中茂、白藤俊彦、秀道広、酒井規雄、赤木宏行
3	(発表・報告) LPS 刺激ミクログリアの長期生存における p38 リン酸化と GM-CSF 受容体シグナルの関与	共著	2018 年 6 月	第 133 回 日本薬理学会近畿部会	LPS 処置ミクログリアの GM-CSF 産生メカニズム及び長期生存に、TLR4 の下流に存在する p38 のリン酸化が関与している可能性を示した。 神垣真由美、秀和泉、白樺紘子、田中茂、酒井規雄、赤木宏行
4	(発表・報告) LPS 刺激による p38 と NF- κ B のリン酸化および GM-CSF 受容体下流シグナル JAK2/STAT5 はミクログリアの長期生存に重要である	共著	2021 年 3 月	第 141 回 日本薬学会年会	TLR4 下流シグナルの p38 と NF- κ B リン酸化、および GM-CSF 受容体下流シグナル JAK2/STAT5 のリン酸化がミクログリアの長期生存に重要である可能性を示した。 神垣 真由美、田島 克啓、田中 美帆、平田 桃子、神田 沙季、兒玉 安史、石原 熊寿